



令和8年5月29日「第2回逢瀬川流域・谷田川流域水害対策協議会」

おおせがわ やたがわ

- 令和8年5月29日に「第2回逢瀬川・谷田川流域水害対策協議会」を開催しました。
- 協議会では、「逢瀬川・谷田川流域水害対策計画(素案)」について事務局から説明を行い、計画(素案)及び「今後のスケジュール」について了承されました。
- 引き続き、逢瀬川流域・谷田川流域水害対策計画の策定を進めてまいります。

【議事内容】

(1) 流域水害対策計画(素案)について

逢瀬川、谷田川における浸水被害を軽減するため、流域のあらゆる関係者が取り組む対策について、特定都市河川浸水被害対策法の規定に基づき、流域水害対策計画(素案)としてとりまとめた。

(2) 今後のスケジュールについて

パブリックコメント等：令和8年6月中旬予定
 計画策定：今夏予定

【開催状況】



【各委員からの意見等】



あさおか
日本大学 朝岡教授(座長)

- 計画対象降雨に対して、(流域水害対策計画に位置付ける)ハード整備後でも河川沿いに浸水が残るという結果が出ていて、それに対して貯留機能保全区域または浸水被害防止区域を定めるという方針が出ている。上流域の河川沿いの浸水エリアが貯留機能保全区域の候補になる可能性があり、下流域の河川沿いの浸水エリアが浸水被害防止区域の候補になりうるという理解でよいか。
 →(事務局)ハード整備後の浸水エリアも踏まえ、区域を検討したい。

【出席者】

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所長
 (代理)流域治水課長
 福島県 土木部長
 郡山市長(代理)副市長
 郡山市上下水道事業管理者
 郡山市消防団長(代理)副団長
 日本大学 朝岡教授
 郡山女子大学 近内准教授

【出席者(オンライン)】

福島県 農林水産部長(代理)農村計画課長
 須賀川市長(代理)道路河川課長
 平田村長(代理)産業建設課長
 気象庁 福島地方気象台長(代理)次長
 農林水産省 東北農政局 阿武隈土地改良調査管理事務所長(代理)次長
 林野庁 関東森林管理局 福島森林管理署長(代理)総括治山技術官
 福島大学 川越教授



あけた
福島河川国道事務所 明田流域治水課長

- 逢瀬川・谷田川流域で浸水被害を軽減するためには、国で管理している阿武隈川でも浸水対策を実施し、本川水位を下げ、バックウォーターの影響を軽減することが重要と考えている。
- 本川水位を低下させる阿武隈川上流遊水地群の整備を進めているため、引き続き、県・市町村の皆様にも事業にご協力いただきたい。